



# 峰ヶ城

チャンス・チョイス・チャレンジ (3C) の峰山小  
～ Chance Choice Challenge ～

学校だより  
令和5年5月21日



薩摩川内市立峰山小学校

## 6月は学習の充実期！！家庭との連携が大事です。

校長 青崎 幸一

峰山小に来てから二度ほど地域の水路周辺の草刈りをしたのですが、峰山小校区は、校歌にあるとおり、辺り一面、干拓治水によってできた田んぼが広がっています。6月には田植えが行われ、“薩摩川内の米どころ”である高江の風景が見られることにワクワクしています。峰山小でも地域の方々の協力をいただき、米作りの活動を実施しています。今年度は、子どもたちにとって充実した体験活動にするために、古人の努力によって築かれたこの稲作地帯の歴史を知る学習も併せて行いながら、体験活動を進めていきます。

さて、令和5年度がスタートしてあと少しで2か月となります。4月当初、新しい担任の先生に緊張した面持ちだった子どもたちも徐々に新しい学級に慣れてきたと感じています。だからこそ、6月は子どもたちにとって落ち着いて学習に取り組み、学力が定着しやすい時期とも言えます。確かな学力定着のために、最も大切なのは授業です。子供たちにとって楽しく、分かる・できる授業にすることが大切です。そのために学校では、授業改善のための研修を実施し、「子供たちが分かる・できる授業」となるよう日々研修と実践に取り組んでいます。

そして、さらなる充実のためには、家庭との連携はかせません。昨年度の1学期の保護者による学校評価で、最も低い評価だった項目が、「家庭学習の習慣化」でした。本校にとって「家庭学習の習慣化」は、大きな課題の一つとして捉えています。学んだことを定着させるためには、家庭学習での復習は非常に大切になります。家庭で復習することで記憶が確かなものになります。「ていねいに字を書いているね。」「ここはまだ苦手なようだから、一緒に考えてみようか。」「ここは、先生に質問してごらん。」等、子供たちへの声かけと家庭学習の確実な見届けをお願いします。

### 失敗する勇気を持たせよう

社会の大きな変化を誰もが実感できる状況である今、未来は、今までの知識や経験だけでは乗り越えられない、今と全く違う世の中になることが予想されています。そんな未来に必要な力は、自分で考えて行動したり、失敗を恐れず挑戦したりする力が大事であると言われていています。子どもたちが勇気を持って行動するためには、日頃の大人の対応が大切です。「失敗しないようにと大人が手を出すことをやめる。」「罰や恐怖で子どもを支配しない。」「しっかり話を聴いて子どもの思いをくみ取る。」「たとえうまくいなくても挑戦したことを認める。」「過去をくよくよ悩まず未来に目を向けさせる。」つまり、失敗は悪いことではないという気持ちを育てることが大切です。誰もが失敗をする存在です。失敗を責めるのではなく、挑戦したことを認める大人でありたいですね。

そのためには、各家庭での居場所（会話）が大切になります。子供たちは保護者の方々に聴いてほしいことがたくさんあるはずで、是非、学習や友達のこと等、学校での様子を尋ねてみてください。